

日本小児麻酔学会第30回学術集会 ランチオンセミナー1 (LS1)

Maruishi
Pharmaceutical
Co., Ltd.

信 頼 と 合 意

小児術前不安対策のアセスメントを熟考する
- 術後の健やかな成長に向けた取り組み -

日時

2025年10月4 (土)
12:00 ~ 12:50

会場

第1会場 (4Fクレメントホール西・中)
JRホテルクレメント徳島
〒770-0831 徳島市寺島本町西1丁目61番地

座
長

名和 由布子先生

北海道立子ども総合医療・療育センター 手術部長

小児の術前不安対策の重要性

- 日本語版・修正イエール式術前不安尺度の開発研究を通して -

演
者

河邊 千佳 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院 麻酔科・ペインクリニック
埼玉県立小児医療センター麻酔科



● 本セミナーはチケット事前配布制です
4Fロビー 総合案内 (8:00~11:30)

共催：日本小児麻酔学会第30回学術集会／丸石製薬株式会社

ランチョンセミナー1 (LS1)

小児の術前不安対策の重要性

- 日本語版・修正イエール式術前不安尺度の開発研究を通して -

手術や麻酔は子どもたちにとって強いストレスを伴う経験であり、多くが術前不安を抱えている。術前不安は、術後に悪夢や分離不安の増加など心理的影響に加え、術後痛やせん妄・興奮にも影響を与えるため、術前不安対策は小児手術に関わる麻酔科医や看護師、外科医にとって必須である。

これまで20年以上、前投薬や非薬剤的介入による術前不安対策の研究が国内外で多く行なわれてきた。近年では、バーチャルリアリティやアプリなどの新しい技術を活用した方法も注目されている。しかし、どの方法が有効であるかどうかを判断するためには、標準化された尺度で術前不安を適切に評価することが不可欠である。1996年に開発された修正イエール式術前不安尺度 (modified Yale Preoperative Anxiety Scale : mYPAS) は、小児の術前不安研究において、世界的に最も多く使用されている尺度である。mYPASは各国で翻訳され、信頼性と妥当性が検証されており、翻訳版を用いた研究も数多く報告されている。

一方、日本でも他国と同様に術前不安対策への関心は高く、研究報告もあるが、これまで国際的な手順で翻訳・標準化された術前不安尺度は存在せず、このことが日本における術前不安研究の国際的な発展を妨げてきた要因の一つと考えられる。

本講演では、小児の術前不安が術後に与える影響、前投薬の意義、近年の対策についてエビデンスに基づき紹介する。また、演者らが開発した日本語版mYPASについて紹介し、研究における尺度と尺度翻訳・標準化の重要性を解説する。

河邊 千佳 先生

